

特別史跡加曽利貝塚の「発掘調査現地説明会」を開催します！ ～令和7年度の発掘調査の成果を解説します～

千葉市では、特別史跡加曽利貝塚で実施している令和7年度の発掘調査成果を解説する「発掘調査現地説明会」を開催しますので、お知らせします。

また、発掘調査現地説明会に先立ち、報道機関向け現地レクチャーを開催しますので、併せてお知らせします。

1 趣旨

千葉市では、特別史跡加曽利貝塚のさらなる解説に向け、令和5年度から第3期調査として、57年ぶりとなる北貝塚の本格的な発掘調査を実施しています。

このたび、今年9月から実施している発掘調査（第3期調査3カ年目）の調査成果を説明します。

2 日時

令和7年11月29日（土）10：00～15：00

以下の時間帯に分け解説を行います。（30分／回、各回定員45人）

- ①10：00 ②10：30 ③11：00 ④11：30 ⑤13：00
- ⑥13：30 ⑦14：00 ⑧14：30

※荒天中止。中止の場合は11月28日（金）16：00までに加曽利貝塚博物館ホームページでお知らせします。

【URL】<https://www.city.chiba.jp/kasori/>



3 会場

特別史跡加曽利貝塚（若葉区桜木8-33-1）

4 参加方法

事前申し込み不要で、どなたでも参加いただけます。（参加費無料）

5 見どころ

（1）縄文時代後期の柱穴群

令和5年度調査において、調査区西側の約250m²の範囲で遺構確認面までの掘削を実施し、土坑278基を検出しました。これらの土坑は、径20cm程度の平面円形で、20～50cmの深さがあり、昨年度までの調査時点では、その形態的特徴と分布から縄文時代後期の住居跡に伴う柱穴群と想定していました。今年度その一部を掘削したところ、縄文時代後期の堀之内式土器が出土したことから、実際に後期の遺構である可能性が高まりました。

(2) 縄文時代後期の遺構と遺物

令和6年度の調査では、調査区東側で縄文時代後期の遺物が集中して出土しました。今年度は遺物が集中した区域を継続して掘削し、縄文時代中期から後期の遺構が重なり合うように密集していることが確認できました。また、その一角で確認した土坑では、台石類を含む石器3点と後期の土器が出土しました。加曾利貝塚で出土した石器としてはサイズが大きく、貴重な事例です。

(3) ブロック状の貝層

令和6年度調査において、調査区東側の後期の遺物が集中して出土した地点の一角から、小規模な貝ブロックが確認されました。貝層に伴って出土した遺物から、縄文時代後期に形成されたものと考えられます。



令和7年度発掘調査で出土した縄文時代後期の土器



令和6年度現地説明会の様子

6 報道機関向け現地レクチャー

(1) 日時

令和7年11月27日（木）14：00から

(2) 取材申込

現地でのレクチャーに参加を希望される方は、11月27日（木）10：00までに文化財課（電話245-5960）へ事前にご連絡ください。

※レクチャー当日は、加曾利貝塚博物館正面入口にお越しください。